

1 当院における HIV 検査の現状

2  
3 ○山本はるな（千葉大学医学部附属病院）、血清検査  
4 研究班

5  
6 【はじめに】HAART 療法の登場により HIV 治療が大  
7 きく進歩しているにも関わらず、エイズ動向委員会よ  
8 り報告された 2007 年の新規 HIV 感染者・AIDS 患者  
9 は、全国で 1,500 件と過去最多となっている。

10 感染症検査では、特に高い感度および特異性を有  
11 する検査が望まれているが、HIV 検査の確認方法や  
12 結果報告様式などは各施設独自に取り決めて実施さ  
13 れており、今後は検査体制の整備が必要と考えられ  
14 る。そこで、千葉県の中核拠点病院のひとつである  
15 当院の HIV 検査の現状を報告する。

16 【内容】①HIV 検査実施数、②HIV 検査方法および報  
17 告様式、③針刺し事故発生時の対応および発生件数

18 【現状報告】

19 ①2007 年 11 月～2008 年 10 月の 1 年間の HIV 抗体検  
20 査実施数は 12,154 件であった。陽性は 30 件(0.25%)、  
21 非特異反応は 8 件（0.07%）であった。

22 ②スクリーニング検査はルミパルスプレストオーツ  
23 HIV-1/2 で行う。陽性時はダイナスクリーンで確認  
24 し、その結果が陽性の場合は陽性報告、陰性の場合  
25 は HIV-RNA 検査を実施する。なお結果の報告様式は、  
26 他の感染症項目と同様に陰・陽性ともシステム報告  
27 であり、閲覧制限はされていない。

28 ③針刺し事故発生時は、感染症管理治療部の指示に  
29 より担当医がオーダーを発生させ、測定法や報告様  
30 式は通常検査と同様に実施する。2004 年 4 月～2008  
31 年 3 月の 4 年間で計 258 件の事故報告がなされ、事  
32 故対策マニュアルに添った対処法が実施されている。

33 【まとめ】新規 HIV 感染者数が増加傾向を示す我が  
34 国において、HIV 感染の予防と感染拡大防止のため  
35 に HIV 検査が果たす役割は大きい。よって HIV 検査  
36 体制のいっそうの整備が必要であると考えられる。

37 (043-226-2328)

38  
39